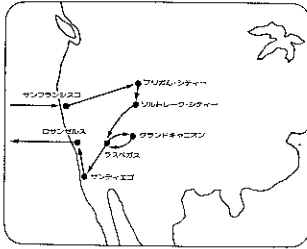


# ブリガムヤング国際コンクール 及び ピアノフェスティバル・アメリカツアー

〈ピティナ ヤング ピアニストコンクール提携〉



6月21日(木)から、アメリカのブリガムヤング国際コンクール・ピアノフェスティバルツアーに出かけていたピティナの一行が、7月6日(金)無事帰国した。

このツアーは、1978年度ピティナ ヤングピアニストオーディションで、最優秀をとった若林顕君が、ブリガ

ムヤングピアノフェスティバルに招待されたのを機に組まれたものであるが、16日間の長旅に疲れの色も見せず、思ふ存分、アメリカ旅行を満喫したようである。

一行は、福田靖子先生を団長に、コンクールの日本代表審査員である中田喜直先生、友情出演者として5名のピティナヤングピアニスト達(岩野めぐみ、西沢綾、堀節子、熊谷千枝、植田尚子)、そして会員の先生方で組まれたが、今号では、その感激の声の中から子供達の声を中心に、いくつか拾ってみた。

## 「ことばがわかったらなあ」

小2 岩野 めぐみ

(四日市市立三重西小学校)

ふくだ先生、アメリカにつれていってくださって、ありがとうございます。今私は、16日間、学校をお休みしたので、そのあいだのおべんきょうを、まい日一生けんめいがんばっています。

「アメリカってどんどこかなあ」と思っていたのが、今どりのりで行で大体わかりました。たくさんのお先生方の前で、いつも1ばんはじめに聞いてもらってあとでボレー先生のおばあちゃんが、まい日のように私のほっぺにチューをしてくれて、えい語でなにかいってくださいました。ことばはわからないけれど、かおや話しかたで大体わかったので、私もにっこりしました。アメリカのたくさんの人から、あくしゅやことばをかけてもらった時は、とてもうれしかったです。

ゴーカートを、モンソンさんが「すきだ、すきだ」といってひいているけれど、さいごまでひけないので、私はくすくすわらいました。あの曲は、田ばた先生に「ぶたの行しん、ぶたの行しん」といっていつもちゅういさ



ディズニーランドでミッキーマウスとめぐみちゃん

れていました。おなかをつかってひくので、いつもれんしゅうしたあとで、あついかおながすいたとかいって、とてもむずかしかったのですが、少しづつよくひけるように



ドキドキした最初のコンサート(ソルト・レイクにて)

なったと、いってもらってから、私もとてもすきになり、「なにかひいて」とたのまれたときには、あの曲をひいています。

それから、お兄さんやお姉さんたちのひいた曲の中で、西ざわあやちゃんのひいた、へんそうてきれんしゅう曲がすきで、ピアノのおけいこの休けいの時に、いつも自分かってにひいています。私もあやちゃんみたいに、かんじょうをこめられたらなあと思いますが、どうしてもはずかしくてできません。

アメリカのコンクールに入しようとした人がスタンウェイやたくさんのおしょう金をいただいたと聞いて、「いいなあ」と思いました。後でしんさいんみたいに○をつけた時、私とふく田先生と中田先生は、おなじ人に○をしていたので、少しうれしかったです。

アメリカにいてもしことばがわかったら、「まだまだたのしかったらあなあ」と思いました。このつき、もしもいけたときは、「ちよっぴりお話ができたらなあ」と思っています。

私は、サンディエゴやプロボがすきでした。どうしてかという、どろぼうがないときいたので、こわくなか

ったからです。

ほりさん、あやちゃん、岩さき先生ともお話をして、かわいがってもらいました。また26日には、ふく田先生や中田先生、そしてほかの人とあえるので、今からたのしみにしています。

## 「素晴らしかった国際コンクール」

小5 西 沢 綾

(小布施町立栗が丘小学校)

昨日までのアメリカ旅行、何て素晴らしかったことでしょう。あまりに感動が大きすぎて、何とお礼を言ったらいいかわりません。

このツアーで1番感じさせられたことは、これまで私達のしてきたことの規模の狭さです。日本はアメリカから比べたら何分の1くらいにしかならない小さな国です。そんなせまい国の中で作られた私達の音楽は、やはり狭いように思います。日本も確かにすばらしい国です。でもスケールの未熟な日本、何だかもういたくなくなっていました。

プロボでの最後の決勝会。すばらしい夜でした。本当に国際コンクールはちがうなあと、つくづく思いました。私もしょう来、ぜひあの舞台に立って、すばらしい演奏をしたい、そして人々を感動させたい。それが大きな夢です。

私も今度、1月にコンチェルトを弾かせて頂きますが、そのお手本を見せて頂いた様な感じです。ちょっとペンでは書き表せないけれど、何というか、コンチェルトはあややって弾くんだと、強く思いました。

プロボの町。みなさんがとても親切にしてくださいました。何てすばらしい町だったのでしょ。いつかもう1度プロボに行きたいです。いつまでも、プロボがすばらしい町でありますように。

このアメリカツアーでは、新しく私の心の中に、強く大きな何かができるように思います。音楽をする時も、

どこかで何かプラスになっていくことでしょう。海外旅行、何てすばらしい経験をさせて頂いたのでしょうか。この機会をもとにして、これからはますますがんばって、すばらしい音楽を作りあげていきたいと思えます。



ピアノフェスティバルの会場で出演者勢ぞろい。ポレイ氏、武田宏子先生・中田喜直先生の顔も見える。

## 「いつかあの舞台に立ちたい！」

中2 若 林 顕

(埼玉・日高町立高麗中学校)

6月21日、夢にまで見た外国演奏旅行の日が来ました。初めて乗る飛行機に胸をふくらませ、成田空港をたちました。

プロボでの約1週間、とてもすばらしく、1番思い出に残る日々をすごしました。ぼくは、マスタークラスに出たのですが、日本の公開レッスンとは、少し違うふんいきでした。あとで聞いた話によると、マスタークラスとは、公開レッスンとリサイタルの間にあるものなのだそうです。レッスンで学んだことは、曲の表現をいろいろな方法で工夫してみることが大切だ、ということでした。

とても残念だったことは、英語がよくわからなかったことです。先生が冗談をおっしゃっているのか、みんなグラグラ笑ったりするのですが、何がおかしいのかまったくわからず、通訳のウィルスさんにたよるばかりで、情けなく思いました。そういう時に、英語の必要性を強く感じました。英語をしっかり勉強しておけば、もっと

ピアノ・エレクトーン・オーディオ

ハ タ 楽 器

(横浜支部のお世話をしております)

〒226 横浜市緑区鴨居町477

TEL 045-934-2468

ピアノ・エレクトーン・ステレオ

琴 光 堂 楽 器

(上田支部のお世話をしております)

〒386 上田市大手1丁目10番6号

TEL 0268-22-0551



アメリカで晴れの舞台に立つ、若林顕君

もっと得るものがあつたと思います。

マスタークラスの他に、中田先生のワークショップを真ん中にはさんだ、3日間の演奏会がありました。

あと、ブリガムヤング国際ピアノコンクールの本選、決勝戦で、すばらしい演奏を聞いて、とてもよい勉強となりました。国際コンクールの高いレベルというものを実感としてわかりました。見ているうちに、ぼくもほんとうに真剣になって練習しなければ、というファイトがわいて来ました。ぼくもいつかあの舞台に立ちたい!!、そのために、これからも、必死でがんばります。

## 〈アメリカにて一言ずつ〉

### 「生まれて初めての日本脱出」

高3 植田 尚子  
(兵庫県立芦屋高等学校)

生まれて初めて日本から脱出し、英語もロククしゃべれなかった私ですが、ほんとうに、すばらしい経験をしました。今では、身ぶり手ぶりと、ほんの片こと、そして心をこめて接すれば、ぜったいに通じるという自信まで、できてきました。

プロボでの1週間は、決して忘れません。たくさんの親切な方々、そしてブリガムヤングでの演奏……。さくらんぼ取りとか水泳、どれをとっても、私の心に大きく刻まれています。こんなすばらしい体験をさせて下さって、本当にありがとうございました。

### 「気分を新たにさせられて」

高1 熊谷 千枝  
(都立立川高校)

とてもすばらしい旅行でした。アメリカを見て、本当によかったと思います。プロボでの生活は、私を“もう1度ピアノをやり直したい、勉強し直したい”という気にさせてくれました。すごく私達のピアノの規模のせまきが見せつけられたような、そんな気がします。とてもよい経験でした。

### 「外人のお友達ができました」

小4 堀 節子  
(茅ヶ崎市立松林小学校)

この16日間、何とすばらしい毎日でしたでしょう。私の心は、少し日本からはなれたようです。アメリカの、あいきょうのすばらしさ、これが私の心を感動させたのです。外人のお友達も3~4人できました。

それに、いろいろなお友達、目上の方々にお世話になりました。どうもありがとうございました。

### 「充実した毎日に感激」

結城市 秋元 則子

とにかく私にとって、このアメリカでの16日間は、1年分くらいの色々な事がありました。一緒に行った皆様方はもちろん、出会う人々のふれあいは、私にとって、得ることばかりでした。

ブリガムヤングでの1週間は、毎日毎日が講義とコンサート、こんなに充実した日々が今迄にあったでしょうか。とにかく少しの事も見のがすまいと、緊張の連続でした。子供達の演奏、すばらしかったですね。

### 「帰国が残念でたまらない」

四日市市 岩野 恵子

ブリガムヤングでは、いつも演奏するのが1番初めなので、ちゃんと弾いてくれるかしら、と待っている間緊張の連続でしたが、あの様な素晴らしい先生方のいらっしゃる席で弾かせていただきました事、感謝致しています。「アメリカに来て良かった」とその時程強く感じたことはありませんでした。

人見しりの大変強い子ですが、ここ2日程前から少しふざける様にも、又お話し出来る様にもなり、その点では、帰国が残念でなりません。もう1度小学生を終える迄に、あの席で弾かせてもらえたらなあ、今では子供の成長を楽しみにしています。



サンフランシスコ、金門橋をバックに、ハイ、ポーズ

## 「楽しさ一杯の研修会」

前橋市 大島美枝子先生より

暑中御見舞申し上げます。

夏期研修会につきましては、福田先生には一方ならない御骨折を下さりまして、深く感謝いたします。

国の内外に活躍される演奏家の先生方の講演と、演奏の組合せで、充実した内容と共に楽しさ一杯の研修会でした。待望の中田先生のアメリカよりおみやげの講演は、特に興味深く、又モデルの生徒さん達が、どなたも上手なのに感心し、楽しくきかせていただきました。もち帰りました楽譜とノートを開いて、やさしい曲をひいてみました。又後期を楽しみにしております。

## 「視野が広がって」

杉並区 長澤昌子さんより

蒸し暑い毎日が続いています。

私はすっかり高校生活にも慣れ、がんばっています。

来週は初めての実技試験、ピアノ科は一番最初の試験だけ課題がでて、それからあとは自由曲ということで、今は校舎のあちらこちらから、いろんな曲が鳴り響いています。

「激しい競争」、芸高に対してそんなイメージを持っていた私でしたが、中にはいってみると仲間

意識が強くとともになごやかな雰囲気です。ピアノ科の人達は、弦、管、打楽器の人の伴奏を受け持ち、アンサンブルをする楽しさ、そして相手の呼吸に合わせるむずかしさと、いろいろな経験をさせていただいています。

先日、日本の音楽にも目を向けて、ということで、国立劇場へ歌舞伎を見に行きました。見るもの、聞くものすべて初めてだった私は、伝統として受け継がれてきた日本の芸術の美に、目を見張りました。

朗々とした声、そしてさえた拍子木の音、人物の心理やその情景がじかに体に伝わってくる三味線の音楽、いつまでもそれらの余韻が、感激が、残っていました。ほんとうに、いいお勉強ができたと思っています。

## 「音楽界の常識に挑戦」

——抜粋——

杉並区 高木紀子先生より

音楽芸術の今月号に小林仁氏の文章が「音楽界の常識に挑戦」の特集に載っていますが、福田先生はもうお読みになりましたか。折々先生が、「日本の子供は15才まで

は出来るが……」とおっしゃっていらしたことへの、いくばくかのお答えが見られ、私は何度もよみ直しました。福田先生の高みのある意気とあわせ考えました。ご多忙の明けくれ、どうぞお身大切に。

## 「娘の演奏にホッとして」

奈良市 田村恵子さんより

昨日(28日)四日市市民ホールでの田端先生門下生の演奏会(第1回)も、大好評のうちに無事終了まして、今ホッと一息入れております。

明子の当日のモーツァルトは、ふっくらと語りかける様で、今の明子の力から致しますと、最高の出来ではなかったかと思われそうです。パーフェクトではございませんが、来月の東京のコンチェルトでも、これ位の演奏をして欲しいものと願っております。

初めから我が子の事ばかりつづりましたが、当日の四日市のお客様は、お子様連れの方が勿論全んどでしたけれど、大変マナーがよろしくて、何か舞台上に引きつけられた様に、最後迄静かに聞いて下さったのに驚きました。地方によっては、とても騒々しくて、演奏が後ろまで聞こえない事もございますが、四日市では、小さな子供達のピアノも後部座席迄、とてもよく聞こえました。

名音大の学生さん達もお手伝いにかけて下さり、和やかさの中にも品の良い演奏会でした。

## 「日本でもう1度皆さんと会える」

アメリカ ダン・ウィルス氏より

(ポール・ボレイ氏通訳)

こんにちは、ノブリガムヤングピアノフェスティバルでは、楽しい1週間を過ごさせていただきました感謝しています。7月1日の朝、プロボ市を出発してから、さびしい気持ちを感じました。もう1度日本で皆さんと会える事を楽しみにしています。

先週ボレイ先生と電話で話しましたが、彼もすごく楽しみに待っています。福田先生とピティナの皆様は私に日本にもどる機会を与えて下さいました。心からお礼を言います。ボレイ先生をよく助けて、上手な通訳が出来ます様に頑張ります。もちろん私の日本語が弱くて限界がありますけれども、全力をつくして頑張ります。

どうぞ中田御夫妻や他の先生方よろしく。又、若林顕ちゃんよろしく！